

### 1 調査概要

調査地域： さいたま市  
 調査対象： さいたま市在住の18～69歳の男女  
 18歳から69歳までの5年代層において、各年代の男女各100サンプル、合計1,000サンプルに回答を得た。  
 調査方法： インターネット調査（調査会社の登録モニターによるWEB調査）  
 実施時期： 令和7年7月4日（金）～7月23日（水）  
 調査項目： 「さいたまスイーツ」「低栄養の予防」「さいたま市市民保養施設」「さいたま市の温暖化対策」「犯罪被害者支援」「自殺予防事業」

### 2 主な調査結果

#### ★「フレイル」、「低栄養」の認知度 （報告書P.14・15）

	「フレイル」	「低栄養」
言葉も内容も知っていた	19.6	21.0
言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった	16.2	19.8
知らなかった	64.2	59.2

(n=1,000)  
(%)

#### ★宿泊施設で重視すること （上位5項目）（報告書P. 20、3つまで回答）

宿泊金額	55.9
宿泊施設の魅力（清潔さや設備の充実度）	39.3
宿泊施設の魅力（サービス内容や宿泊者の口コミ）	28.8
宿泊施設までのアクセス（手段）	19.8
温泉施設のある宿泊施設であるかどうか	14.0

(n=1,000)  
(%)

#### ★市の地球温暖化対策の認知経路 （上位5項目）（報告書P. 24、複数回答）

「市報さいたま」	52.9
市のホームページ	18.1
ポスター・チラシ	15.7
市役所・区役所の窓口	14.3
その他のインターネット	8.6

(n=1,000)  
(%)

#### ★犯罪被害者支援制度の認知を広げる方法 （上位5項目）（報告書P. 30、3つまで回答）

「市報さいたま」	35.4
SNS（X、LINE、Instagram）	29.1
ポスターやチラシ	25.7
市のホームページ	21.8
駅や商業施設のデジタルサイネージ	15.3

(n=1,000)  
(%)

★スイーツのイベントであったら最も参加してみたいイベントは、「特定の日にくつかりのお店が1か所に集まり、その場で購入して持ち帰れるイベント」（36.2%）（報告書P.12、複数回答）

★死んでしまいたいほどの悩みを抱えたときの一番の相談先は、「精神科、心療内科などの医師」（28.0%）（報告書P. 34、複数回答）

詳しくは、市ホームページで、報告書本編をご覧ください。  
<https://www.city.saitama.lg.jp/006/002/004/p017090.html>  
 トップページ>市政情報>広聴・市民参加・アンケート>市民アンケート>  
 さいたま市インターネット市民意識調査

R7.8月  
 さいたま市市長公室  
 秘書広報部広聴課  
 企画係